

人の気持ちとは、身勝手なものだ。この時期、よく思っている。冬には早く暖かくなりたいと願う。夏には涼しくなりたいと願う。春は秋ばかりだと変化が激しくなると願う。

今年の明け方は梅雨が終わったと感ずる。お天気にうんざりな大人たちの横で、汗をかきながら、アムに水あびにしようとする子ども達。賑わいです。大人たちはボジボジと汗をかく。夏を果ては11月。



夏のお出かけ

海 に行くとき (乳児には海の紫外線は強すぎます)

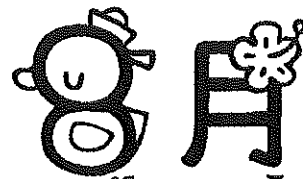
- ★長時間の直射日光をさける。日焼けも、熱を出す原因になります。帽子、長袖のシャツなどを利用し、こまめにパラソル、木陰で休息しましょう。
- ★水分を十分にとる。水、麦茶など、糖分の少ないものにしましょう。
- ★日焼けはやけどと同じです。日焼けのひどい部位は、冷たいタオルで冷やしましょう。(日焼けには、冷却シートは使えません)

旅行 に行くとき

- ◇こどもは、まわりの環境に慣れず興奮するものです。2~3時間車に乗っているだけでも疲れます。車の中の冷房、換気にも注意してください。
- ◇急な時のために、かかりつけの医師から常備薬・解熱剤など処方してもらい、携帯するとよいです。旅行先で、「元気がない、熱と一緒に何度も吐く」などの時は、病院で診てもらいましょう。

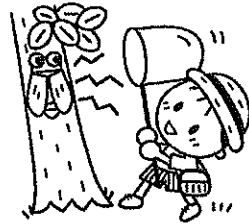
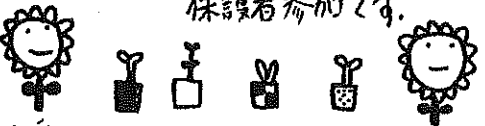
出かけた後の **休養** を

環境がかわると、子どもが小さければ小さいほど、疲れが何日も残ります。お出かけは、無理のないスケジュールを計画し、出かけた後の休養はこどもの様子にあわせてとりましょう。



今月の予定

- 23日(金) たん生会
- 31日(土) 一泊キャンプ (きりん組)
- 20日(火) 体育館リズム (きりん組・はんだ組 保護者参加です)



あつ〜い夏になりました。子ども達にとっては、楽しい夏のですが、反面、危険も多、夏です。気をつけて楽しい夏にしましょう。

出かけの時は忘れずに

- ① 保険証
- ② 飲み物
- ③ タオルやバスタオル
- ④ リバティーなど

があるといいです。

ヒロシマ・ナガサキ

天声人語

元広島カープ監督の「ミスター赤ヘル」山本浩二さんの長兄、宏さん(81)は、数年前まで被爆体験を人前で語ることをよく喜んだ。心境が変わったのは4年前のことだ。母の法事で東京から広島へ帰郷した際、息子と娘に初めて体験を詳しく話した。2年前、同じ被爆者だった妻に先立たれる。「いま後世に伝えたいと語られてしまう」と腹を決めた。都内であった追悼式で初めて語った。7歳の夏、朝の通学途中、閃光を浴びて倒れた。意識が戻ると、一面、闇夜の暗さだった。頭と首、肩を焼かれた。後頭部の傷は深く、仰向けで眠ることもできなかった。多くの遺体が焼かれた校庭のにおいはいまも鼻の奥からぬぐえない。きょうだい4人のうち、末弟浩二さんだけが戦後の生まれ。あの惨劇をあえて弟に語りたく考えたことはいない。「痛みが筆舌に尽くしがたく、思い出すことも体がつかない。米軍への怒りも消えませんが」。毎夏、広島から記念式典が中継されると、迷わずテレビを切った。▼球界で活躍する弟に迷惑をかけたくない。そんな思いから沈黙を保ったのは。という私の仮説は、おおよそ見当外れだった。生半く地獄を見た者は、何年たとうと記憶に激痛を伴う。語ることは新たな苦しみとなる。そんなことに思いが至らなかつた自分を恥じた。▼この夏も各地の追悼行事に被爆者が参加し、求められて体験を語るだろう。投下から70年余が過ぎても癒えぬ「語り部」の痛みを思い、語るを決意した勇氣に学びたい。

2019・8・5

(朝日新聞・8月5日 より抜粋)

8月6日そして8月9日

若い人たちに何の日か、と問うても即座に答える人は少なくなりました。生きていれば100歳近い私の父も戦争体験者でした。私への子守歌は軍歌で、今でも口ずさむことができます。しかし、父もまたその体験の多くを語ろうとはしなかったと記憶しています。

人間が人間のうえに原爆を落とすという事実。

国家として戦争をはじめ正義を遂行したという事実。

その「国家」というどこか遠くで主体の見えない誰かが決めたように思われることも、実はひとりひとりの心や態度が決めているのだと思います。

八月のこの時期になると、子どもたちに何を伝え、どう育てほしいか、と考えてしまいます。

うた

青い空は 小森香子 作詞 大西進 作曲

1. 青い空は 青いまま 子どもらに 伝えたい
燃える八月の朝 影まで燃えつきた
父の母の兄弟たちの いのちの重みを
肩にせおって 胸にいだいて

2. (※くり返し)
あの夜星は黙って つれ去っていった

父の母の兄弟たちの
いのちの重みを
今流す灯籠の
光にこめて

3. (※くり返し)
すべての国から
いくさの火を消して
平和と愛と友情の
いのちの輝きを
この固い握手と
うたごえにこめて